

受付印		氏 の 変 更 許 可 申 立 書	
収入印紙 円		(この欄に収入印紙800円をはる。)  (はった印紙に押印しないでください。)	
予納郵便切手 円			

準口頭	関連事件番号 平成・令和 年(家)第 号
-----	----------------------

京 都 家 庭 裁 判 所 御 中 令和 〇 年 〇 月 〇〇 日	申 立 人 (又は法定代理人) の 記 名 押 印	乙 川 春 子	Ⓜ
---	---------------------------------	---------	---

添付書類	説明書の必要書類を参照してください。
------	--------------------

申 立 人	本 籍 または (国 籍)	京都府 〇〇市 〇〇町 〇番地		
	住 所	〒 〇〇〇 - 1234 京都市 〇〇区 △△町 ◎番地 〇△マンション123号 ( )方 昼間に連絡の取れる(携帯)電話番号 075(123)4567		
	フリガナ 氏 名	オツ カワ ハル コ 乙 川 春 子	昭和 平成 〇 年 〇 月 〇〇 日 生 令和 ( 〇〇 歳)	
	フリガナ 氏 名		昭和 平成 年 月 日 生 令和 ( 歳)	
	職 業			
※ 法 定 代 理 人  ( 後 見 人 ・ 母 )	本 籍 または (国 籍)			
	住 所	〒 -	電話 ( ) ( 方)	
	フリガナ 氏 名		職 業	
	フリガナ 氏 名		職 業	

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分は、申立人が15歳未満の場合に記入してください。  
氏の変更(1/2)

申 立 て の 趣 旨
申立人の氏 ( <b>乙 川</b> ) を ( <b>甲 野</b> ) と変更することの許可を求める。

申 立 て の 理 由										
<p>※</p> <table border="0"> <tr> <td>1 婚姻前の氏にしたい。</td> <td>6 通称として永年使用した。 (使用を始めた時期 昭和・平成 年 月)</td> </tr> <tr> <td>2 婚姻中に称していた氏にしたい。</td> <td>7 外国人の父・母の氏にしたい。</td> </tr> <tr> <td><b>3</b> 外国人配偶者の通称の氏にしたい。</td> <td>8 実家の氏にしたい。</td> </tr> <tr> <td>4 奇妙な氏である。</td> <td>9 その他</td> </tr> <tr> <td>5 むづかしくて正確に読めない。</td> <td></td> </tr> </table>	1 婚姻前の氏にしたい。	6 通称として永年使用した。 (使用を始めた時期 昭和・平成 年 月)	2 婚姻中に称していた氏にしたい。	7 外国人の父・母の氏にしたい。	<b>3</b> 外国人配偶者の通称の氏にしたい。	8 実家の氏にしたい。	4 奇妙な氏である。	9 その他	5 むづかしくて正確に読めない。	
1 婚姻前の氏にしたい。	6 通称として永年使用した。 (使用を始めた時期 昭和・平成 年 月)									
2 婚姻中に称していた氏にしたい。	7 外国人の父・母の氏にしたい。									
<b>3</b> 外国人配偶者の通称の氏にしたい。	8 実家の氏にしたい。									
4 奇妙な氏である。	9 その他									
5 むづかしくて正確に読めない。										

(氏の変更を必要とする具体的な事情)

**1 申立人は、平成13年3月10日、国籍 韓国 金夏男(通称名 甲野夏男)と婚姻しました。**

**2 申立人は、上記婚姻時より現在まで、夫の通称名の「甲野」を使用してきました。**

**従って、上記通称名が社会的にも通っているので、この申立てをします。**

**3 なお、申立人には同籍者として、長男秋男(平成〇年〇月〇日生)がいますが、申立ての趣旨のとおり氏を  
変更することに同意しています。**

の 申 立 人 と 同 一 戸 籍 内 の 者	氏 名	住 所	年 齢	職 業
	<b>乙 川 秋 男</b>	<b>申立人に同じ</b>	<b>1 5</b>	<b>学 生</b>

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分は、当てはまる番号を○で囲み、9を選んだ場合には、( )内に具体的に記入してください。